

<p>6. 例会をより一層活性化させていくために必要なものとして「報・連・相」があります。報告、連絡、相談をするということでもあります。それは、相手を尊重し大切にすることでもあります。このことを自覚して活性化させていくことの大切さを知ることでもあります。</p>	<p>7. ロータリアンとして守るべき五つの原則又は五ヶ条</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 弄して対価を求めず <input type="checkbox"/> 自らすんで責任を負う <input type="checkbox"/> そのことに情熱を持つ <input type="checkbox"/> 汗して使命感を果たすこと <input type="checkbox"/> 涙して感動を表現すること
---	--

2011年 4月21日(木)

第 38号

財) ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま 133号 ★ 2011年4月12日発行

このたびの大震災で被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

：：今月のトピックス：：

- 1. 寄付金速報 — 予算達成に向けてご協力お願いします —
- 2. 震災から1カ月……東日本大震災関連の続報
- 3. 現地採用の第1号奨学生が博士号を取得して帰国
- 4. 奨学生のスピーチコンテスト — 第2660地区 —
- 5. NHKハングル講座に米山学友がレギュラー出演中！

【お知らせ】

『ロータリーの友』5月号に姫軍さんのスピーチが掲載されます

《今月のピックアップ記事》

2. 震災から1カ月……東日本大震災関連の続報

●奨学生の安否

第2520地区、第2530地区、第2820地区について、現役奨学生（3月終了者含む）および合格者、計116名の安否確認をすすめておりましたが、全員の無事が確認されました。

●国内外から支援の輪

4月11日現在までに、台湾学友会から2,576,000円、韓国学友会から1,630,000円、中国学友会から1,358,500円、第2670地区学友会から37万円を受領しました。また、匿名奨学生から「日本で生活するわれわれ外国人も今回の震災に日本人と同じく心を痛め、同じく力を出したい」と、アルバイトで貯めたお金を含め10万円を寄付してくれたほか、台湾学友会理事長の許國文さん（1975-77/徳島RC）が、自身の所属するロータリークラブを通じてマスクを6,000枚送ってくれました。これらの義援金と物資は、近日中に被災地区へ送ります。

本日のプログラム	会員卓話
次回例会	4月28日(木) 18:30~ 三次グランドホテル
次回プログラム予告	夜間例会

例会記録・・・4月14日

- 点 鐘・・・・・・中川 筆之 会長
- ソング・・・・・・「君が代」「奉仕の理想」

会 長 挨拶 ■ 中川 筆之 会長



失礼します。一週間のご無沙汰ですが正に今、桜花満開の候です。花見をしたい雰囲気ですが、目の前に50周年が控えておりますのでそうも参りません。

さて、先の日曜日広島市内の広島都市学園大学という出来て3,4年の新しいキャンパスで2710地区のRLIがあり、ガバナー補佐12名は必修科目みたいなもので私も出席してきました。藤後会長エレクトも出席されました。ロータリー活動の色々なテーマで6項目提案され一单元45分を6時限やらされ、終わりましたのが午後の5時30分でした。9時間の拘束でさすがにぐったりになりました。まだ後2回のレッスンが残ってますが何とかやり抜こうと踏ん張っています。興味のお有りの方は私にお申し出ください、一緒に頑張りましょう。おられるとは万が一にも思いませんが一応PRします。本日は以上です。

幹事報告 ■菅原 暢之 幹事

■本日例会終了後、理事役員会を開催します。

出席報告 ■児玉 敏宏 副委員長

3月31日の出席報告					本日（4月14日）の出席状況			
会員数	出席者	Make-up	出席免除者	出席率	会員数	出席者	出席免除者	欠席
44	28	5	5	81.82%	44	29	5	10

Make-up 小田(聡) 会員（青少年交換委員会）・藤谷会員・明山会員・常光会員（I. M.）
石田会員（危機管理委員会）

委員会報告

- 山下小林友好委員会 4/16小林RCとの2次会への最終案内
- 沖田親睦委員長 4/28夜間例会の案内。午後6:30～グランドホテルで
- 増田広報委員長 会報の訂正お詫び。決議23-34の解説掲載について
- 明山50周年式典部会長 式典当日スケジュール概要案内

SAA報告 ■属 吉行 SAA

スマイル8,000円

本人誕生月	藤後俊彦
結婚記念月	児玉常典・松本義暁
入会月	沖田憲司・天野芳明
創業月	児玉常典・藤後俊彦

プログラム

会員卓話



佐藤会員卓話

ロータリークラブは、週1回の例会が行われていますが、月で言いますと、多い月で5回普通の月で4回であります。特別な事情がある場合は、3回の時もあります。他の奉仕団体は、月単位で2回とか1回の団体があります。その意味に於いて、例会をお互いに再認識しより一層活性化させていく必要があります。そのためには、色いろあると思いますが基本的に要約いたしますと次のようになると思います。

1. 例会は、ロータリアンの仲間が日常生活の中で体験を通して学んだこと（「体験に勝る真実なし」）を、お互いに情報交換する場ですので、謙虚な姿勢で誠実さを持って自己研鑽することが大切であります。それ故に例会は、米山梅吉氏の言葉を借りれば「人生道場である」と言われる所以であります。ロータリアンとして大切な事は、そうした自己研鑽の大切さを自覚することです。

2. 異業種の人々との出会いと共感によって連帯感を味わい、安らぎと共に完成を豊かにして心の広いロータリアンになるための場でもあります。1905年にロータリークラブが結成されまして親睦活動委員会ができました。ポールハリスは、寛容、慈愛、忍耐の三つを示唆されまして以来、106年の歴史が経過いたしました。現在、各クラブに親睦活動委員会がございます。年に1回か2回の委員会活動が行われていますが、その時だけでなく、例会での活動を活発に行うことが大切です。「和して同せず、同して和せず」と言うことの意味を深く理解したいものがあります。先輩からよく耳にした言葉として「手や足の汚れは常に洗い流すことはできるが、心のアカは気づかされない。この心のアカを綺麗にするのがロータリアンである」とのご示唆をいただきました。

3. ロータリーは1年毎にその役割分担が変わります。地区ガバナー信条「ロータリーの絆を持つ あくなき情熱と冷静で青少年の育成を・・・」のもとに、

ロータリーをより良く理解し、自己研鑽に努め、感性豊かなロータリアンになるために活動の創設をめざすことでもあります。それらの目的を達成していくためには、奉仕活動を通じて高度な判断を示す場でもあります。

4. 自分の思っていることや考えていることを素直に表現できる雰囲気大切であります。たとえ幼稚な発言であっても批判しないこと。皆の達成感を充実させることが出来る場でもあります。そのためには、規則にはないわけですがマナーとして私語を慎むこと。居眠りをしないこと。約束を守ること。時間を励行すること。仲間の悪口を云わないこと。等々。要するに礼儀や作法や節度等礼節をわきまえることでもあります。「先輩に習い、後輩に学ぶ」という謙虚な姿勢で誠実さを持って自己研鑽することが大切であります。教えるという姿勢ではなくとも学ぶという心であります。以上がロータリアンとしての基本的な姿勢であります。

5. ロータリアンとしての基本的な心は、「入りて学び、学びい出る、い出て奉仕する心」であります。この奉仕の理想に貢献していくためには、お互いが深い信頼と友情によって結ばれた時はじめて発揚するものであります。この人間関係能力を高めていくために必要なものとして「3原則-3A」があります。それは「挨拶」「笑顔」「相槌」であります。挨拶の挨拶は「開く」、挨拶は「せまる」という意味があります。自分の心を相手にせまっていく、相手を認めるという意味であります。相手を認めるから自分も相手から認められるわけでもあります。「笑顔」は、「いつもニコニコと美人に勝るお多福の顔」とか「笑う門には、福来る」あの人と何時会ってもニコリ笑って挨拶してくれる。あの方は、いい人だということは、時代や社会や民族国家が変わっても絶対に変わらない人間の原則であります。「相槌」は、応答活動、共感反応、自己活動であります。別の表現をすれば連帯感、存在感、向上感であります。この三原則を自覚し活性化させていきたいものであります。